



楷樹 (山崎記念館前)

The Higo Foundation for Promotion of Medical Education and Research

肥後医育ニューズレター

(題字 元理事長 徳臣晴比古)

発行所 公益財団法人肥後医育振興会
〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目2番1号
TEL・FAX (096) 373-5425
ホームページ <http://www.119higo.com/>

発行人 理事長 西 勝英 編集人 木原 信市
印刷所 ㈱城野印刷所 TEL (096) 286-3366(代)

理事長挨拶



公益財団
法人「肥後
医育振興

理事長 西 勝英

会」は本年度をもちまして創立

二十三年を迎えることとなりま
した。創立以来、永きにわたり
ご援助、支援していただきまし
た皆様深く感謝いたしますと
共に、今後ともご指導、ご鞭撻
のほどよろしくお願いいたしま
す。

本財団は熊本大学医学部創立
一〇〇周年を記念いたしました、
熊本における医学研究、医療の
充実、市民への正しい医学情報
を提供することを目的として発
足いたしました。発足当時、大
学は改革の中にあり、大学医学
部としての在り方に大きな期待
が寄せられていた時期でもあり、
諸先進国では大学の運営に大き
な役割を果たしている「財団」
を模範に設立された組織であり

ます。このような財団は大学運
営に大きな財政的寄与と社会的
貢献が期待されているところで
あります。

特に熊本県民に対する正しい
医学情報提供として、熊本日日
新聞社、一般財団法人化学及血
清療法研究所との共催で開催し
ています「肥後医育塾の開催」
は六十四回を重ね、県民に対し
てメディアを通じての啓発に大
いに寄与しているものと自負し
ています。この二十二年にわた
り多くの情報を提供していた、だ
いた全国の医学・医療関係者並
びに熊本地域の医療関係者によ
る援助の賜物と感謝しています。

私事になりますが、私は平成
十五年熊本大学医学部を六十五
歳で定年を迎え、新たな人生の
出発として、研究職、教育職を
離れ、高齢者医療の現場に従事
することにしました。最初の二

年は現実の臨床の場でCT、M
RI読影、高齢者特有の疾患、
特に認知症の研修に専念しまし
た。その後高齢者に対する二次
医療（療養病棟を中心とした病
院経営）に携わることとなり、
高齢者医療の現実の様々な問題
に直面することになりました。

高齢者では不可逆的な老化の
過程で発生する身体の虚弱状況
での様々な病気が発生します。
一般人における一疾患に起因
する急性期の疾患とは異なり、
全身に現れる病態であります。

従って、高齢者では完全治癒を
目指す医療ではなく、時として
は病気と共存し、生活機能（Q
OL）を落とさないことを目標
とする全人的な医療や、あるい
は、全身衰弱による死を迎える
ことが出来るよう支援する医療
が求められるのです。

しかしながら、現在の医療体
制では、高齢者医療に熟練した
医療従事者、特に医師の不足が
問題点としてあり、超高齢社会

を迎え、高齢者医療の需要を予
測し、それに合わせた医療資源
である人、物、財政的基盤等の
配分が求められるのであります。
そのような観点から、本財団で
は「医療人育成会議」というシ
ンポジウムを毎年開催し、医療
人（医師、看護師、理学療法士、
他医療関連人材）の教育につい
て討論、検討、提言をしてしま
した。本年度は「認知症」につ
いての教育問題を取り上げる計
画を進めている所です。

今後、創立二十三年を迎えた
財団としては、新たな目標とし
て、基礎研究助成や医療教育関
連助成に力点を置き、諸団体、
財界からの寄付、援助をお願い
して財政的充実を図りたいと
思っています。この時期にあた
り、財団理事長としての責任を
痛感している次第であります。
ますますの皆様方のご支援、
ご鞭撻をお願いいたします。